



TOCO-TON 明科

No. 52 R7. 12. 24 発行
TOCO-TON 指導主事

1 明北小金管バンド部『委ねることで変わる子どもたち』 12月

12日（金）に、『金管バンド部まとめのコンサート』が行われました。小学校生活最後の発表となる6年生を中心に、部員みんなで創り上げた素敵な演奏会でした。

顧問は、発表に至るまでの練習の中で、自分の気持ちのもちようや、子どもたちへの指導の在り方を振り返りました。下記は、金管バンド部のおたよりです。「委ねる」ことで変わってきた子どもたちの姿が分かります。

また、学年や子どもたちの実態に合わせて「どこまで、どのように委ねるか。」も大切です。



（前略）コンサートの2週間前くらいまでは、「目標やプログラムは決まったのに、係活動が進まない…」「6年生の気持ちがバラバラ…」と、私は心がモヤモヤしていました。そして、つい口を出しすぎてしまったり、慌ただしく練習を進めてしまったりしていました。「このままだと、顧問がいろいろ言うだけのコンサートになってしま…」と、いろいろと考えた末に（コンサートの曲はほとんど吹けていたので）「あとは皆に任せよう！」と思いました。

朝の部活動では私も吹く側に回り「わからないことや、お願いしたいことがあれば、先生に言ってくれれば手伝うよ。」という気持ちを皆さん伝えました。「先生が前に立って指導してくれない。どうしよう。」と、困った人もいたと思います。でも、じっくり見守っていると、私が言わなくとも音出しの声がかかり、部長が「今日はどの曲をやりたいですか？」と皆に問い合わせました。すると「R P G！」「青と夏の方がやばくない？」といった声が聞こえてきました。はじめは個人練習をしていたのに、いつの間にか皆の音がそろっていた時は、驚きました。コンサートに向けて皆に声をかけ、休む間もなく動いている部長の姿を見て、他の6年生や4・5年生が少しずつ変わっていました。楽器運びの日には、今まで男性の先生方に私が事前にお手伝いをお願いしていたのですが、皆だけで全ての楽器を運ぶことができました。私が5年生とドラムセットを運んでいると、他の5年生が「私が運びたい！」と言って代わってくれました。さらに、体育館と音楽室を何往復もして最後まで楽器や友達の譜面台を運んでくれた人もいました。

ステージ練習に入ってからは、寒い中体育館での休み時間練習です。それでも「先生、今は金管のことしか考えられません！」と言って、金管を優先した子もいました。6年生の「ひまわりの約束」の曲が通ってくると、それまで自信がなさそうだった6年生の表情や音色が変わっていました。「もう1回合わせませんか？」「先生、ここがわからないので教えてください！」と、声をあげられるようになったのは、それまでの6年生の姿からは考えられませんでした。そしてコンサート前日、お昼休みに6年生と5年生がお互いの曲を聴き合って、最後には「5・6年で1曲やりたい！」と言って演奏した時、皆がすごく気持ちよさそうで「やっぱり、音楽の力って人の心を動かすんだなあ。」と感動しました。（後略）

2 明南小『全校縦割り活動：あおぞらキッズ』 11月5日(水)・12月3日(水)



およそ、月に1回のペースで「全校縦割り活動:あおぞらキッズ」の時間があります。あおぞらキッズは、給食後の清掃をなくし“ぽかぽかタイム”的な時間として行っています。リーダーの5年生が計画を立て、レク遊びをしたり、運動をしたり、笑顔いっぱいに楽しめる時間です。5年生にとっては、あおぞらキッズの運営で学んだことや感じたことを、次年度の児童会活動の運営に活かしていくよさがあります。

3 明北小・明南小『おはなしカーニバル』

地域の「おはなしカーニバル」の皆様に、絵本の読み聞かせや、紙芝居をしていただきました。準備されたセットからもワクワク感が伝わってきます。目と心を動かさせて、じっくりとお話の世界を楽しめるひとときでした。



4 明北小『4年生が進める音楽集会』12月17日

4年生は、音楽専科と相談し、タイムリーな『ジングルベル』を全校音楽の曲に選びました。そして、持ち寄った4つの打楽器を使って「楽しく仲よく歌おう！」を目標に、全校音楽当日の流れを考えました。ギターを奏でるサンタクロースを中心に、4年生が外向きで内円を作り、その周りに他の学年が外円を作って、お互いの顔を見合いながらジングルベルを元気よく歌って楽しみました。

